

矢野大和新聞



友人の会3300人の会
現在500名突破

第 7 号
平成27年1月1日
発行：矢野大和事務所
発行責任者：矢野大和

今年もよろしく

おねがいします



皆さん、明けましておめでとござい
ます。随分と御無沙汰をしております。
大和新聞第7号をお届けします良かったら
是非最後まで読んで下さいませ。
第6号から、丸二年、通信が途絶えま
した、私の怠慢からですが本当に、有り
難いほど忙しかったのです。平成26年も、
昨年の27年も年間400回の口演をさせ

て頂きました(話し方教室を含む)皆さ
んにも沢山営業をして頂き、口演の輪が
拡がって行きました。多くの関係者に感
謝申し上げます。今年もよろしく願い
します。

内訳は、大分県が150回、福岡県と
山口県が、100回、他の九州地区が1
00回、九州以外(山口県を除く)が5
0回と大まかではあります。分析する
事が出来ます。とにかく西日本の方々に
大変お世話になって居るのです。毎年呼
んで頂いている、青森の弘前市、黒石市、
岩手の軽米町、出来たら今年もよろしく
お願い致します。遠いなどと思つた事は一
回もありません。

意外と多いのが、大阪市と大阪府。泉
南、阪南、岸和田、和泉佐野、の南方から、
大東市、能勢町と北方へ私の笑いが関西
に通じる事が本当に嬉しく、生意気です
が楽しんで喋っています。今年もよろし
くお願い致します。

また新規に嬉しいご縁が出来たところ
があります。昨年、一昨年で御世話になつ
たのが、鹿児島県大島郡の方々です。(鹿
児島県は旧市町村、その殆どを制覇して
いたと思つていました)奄美諸島に
は行った事が無かつたのです。それが昨
年、徳之島、奄美大島、喜界島、等呼ば
れる事になりました。今年は、1週間ほ
ど滞在して、さらに沖永良部島、与論島
と呼んで頂けるようになって居ます。ど
うぞ夢をかなえて下さいませ。島の人た
ちの人情でこちらが元気を貰えます。

大分、福岡に次いで多いのが山口県で
す。毎年教頭先生たちの研修会にて8年
連続で喋っている関係で、公立の中小学
校からの依頼が多いのです。次に島根県、
連泊してお世話をして頂けるために一挙
に回数が増えるのです。大田市、益田市、
津和野町の関係者に心から感謝申し上げ
ます。

今まで九州で一番お呼びがかからな
かつたのが熊本県です、それがここ2年
で一気に伸びました。県の婦人団体研修
会が有り担当の天草市の方が、私を呼ん
でくれました。そのお蔭です。益城町の
グランメッセでは過去二番目の多さの1
700人の前で口演でした。(ちなみに
過去最高は3500人です。ここには
二度と行きたくありませんハイ)県全体
の行事に呼ばれる事が増えて、それに伴
い各町村が呼んでくれるようになりました。
でも一番行つてないのがやはり熊本
県です今年も是非呼んでくださいませ。

今年も、大分トヨタさん(過去連続9
年目)の計らいで、仕事始め式の口演が
私の仕事始めです、社長に感謝申し上げ
ます。特記すべきは、那覇市、木更津市、
中野サンプラザ、可児市、伊予市、松山市、
行くのが楽しみな所が沢山あります。

有り難い事に大体3月までは、ひと月
に30回を越えて依頼が入っています。問
題は4月からです。いつも年度が変わると
不安になります。どんなテーマでも喋り
ます、今年も頑張りますから皆さん、応
援をよろしく願います。

若手との落語会も順調

若手の落語会も充実してきました。一
昨年からは始めた若手落語会も5回目を迎
えました。市楽、朝也、たけ平、燕弥、小辰
の各師匠方と呼べ、お客様も常に満席で
順調に続ける事が出来ました。

今年、志ん八、市江、各師匠方が決定。
さらに、こみち、市弥、花ん謝の各師匠
の方々。期待の二つ目を呼び続けたいと
思っています。こんな楽しい贅沢な会が
出来るのも、話し方の卒業生がスタッフ
を務めてくれるお蔭で、常にボランティア
アとして10名を越える方が支えてくれ
ています。事務所での打ち上げが非常に楽
しいです。お客様は、登録されているの方
々に(300人)手紙を出すと、100名
の固定客が来るようになりました。話し
方教室の卒業生の有志で落語部が出来、
前座が出来るようになりました。また高
座設置も慣れたものでとても運営が楽に
なりました。私もプロの前座を満喫して
いますから未永く続けたい行事です。

この落語会が若手の嘶家の間で話題に
なり、「大分に行きたい」といわれるま
でに成りたいものです。皆様のご協力、
御来場お待ち申し上げます。



たけ平君との打ち上げ

思い出すベスト5

優秀はつけられません。毎年参加している、福岡県の篠栗町での西日本生涯学習実践交流会で、私が世話をさせて頂いている、話し方教室の様子を発表させて頂いた事が一つ目です。これは本当に嬉しかったです。生徒の頑張りが見え、早速長崎市での機会を頂きました。

二つ目は日比谷公会堂にて、口演。今年取り壊されるそうで、私にとって最初で最後の口演となりました。宮崎で口演をしたら東京のNOSAの本部の方に留まり全国大会に呼ばれたのでした。ただただ感謝です。

三つ目が新聞の掲載の仕事を受けた事。宮崎日日新聞からは、客論を5回。読売新聞からも、そして大分合同新聞からは、夕刊の「灯」コーナーを月に1本(今も継続中)を頂きました。セーノの記事に続いて、やりがいがあります。依頼感謝、駄文陳謝です。



四つ目はテレビ朝日の全国版、「ぶちやけ寺」に出演した事です。

良く私のような者を見つけて頂いたと関係者に心から感謝申し上げます。これから神社神道でも番組を作って下さる事を願いますね。佐伯のケイブルさんも私を使ってくれています。もちろん楽しんでます。

そして五つめに話し方教室が10期を迎えた事を挙げたいと思います。卒業生等、関係者が100人になりました。今度は卒業生が文化教室を4教室もち生徒を持つようになる予定です。さらに教室生が講師に沢山呼ばれるようになりまして。卒業生に手伝ってもらって、若手の嘶家の落語会のイベントが打てるようになります。毎年3名呼べるようになりまして。これは本当に嬉しい事です。

ありがたい、アドバイス

口演をしている以上、その内容にクレームを頂く事はよく有ります。今年3件ありました。400回の内3回です。すからあまりない方かも知れませんが、もともと、聞いている人が「単なる笑い話」と聞いてくれればクレームもないのですが、中には真剣に聞いてくれるものです。ですから耳障りになるでしょう。しかしこれは、大変に有り難いことです。

福岡県のある市にて口演をしている時に、市役所の職員は定年後に何もしないと呆けるよ「痴呆公務員だから」このフレーズが問題になった。殆どの人は笑ってくれたが、気になった人がいて、お手紙まで頂いた。痴呆症とは今は言わない、認知症というらしい。お手紙に感謝申し上げます。少し工夫をさせていただきます。

鹿児島県のある町にて。学校の先生たちの会。「二神教は、戦争を起こしやすい」このフレーズにひっかかった。「多神教の方は他を認めるために宗教戦争が少ないように思えるが。一神教原理主義は他を認めない、しかも一神教は、「絶対」であるために、外を否定する」そんな私の発言だったと思う。もう少し勉強してみます。「全てではないそんな考えもある」と聞いてくれればありがたいが、先生方はそうはいかないようだ。

大分市のある集会。久しぶりに政治の嘶「村山さんが総理になったので、自民党の政権が続き、利権が離れず自民党の傲慢さが続いた。社会党は解体、今や社民党は風前の灯、存在価値が有るのか?」そんな話。クレームは「村山さんの悪口を言うなだった。熱い村山信者からだった。私は、人柄まで否定はしてないつもりだが、腹立たしく思えたのだろう。」

旅先で頂いた、名言

この二年間で沢山の方とお会い致しました。名刺を頂いた方は、大事に保管をしています。全てを覚えてる訳ではありませんが、お会いする機会がありましたら気軽に声をかけて下さいませ。そんな方々から沢山の名言を頂きました。特に感動した、言葉を3つ紹介します。

長崎の、女性神職会にて。斎藤一斎先生の「春風接人、秋霜自肅」本当にその通りですよね。日本の四季の移ろいを感じ、人としてどう生きるかを僅か8文字で表しています。胆に銘じます。

長崎県の大学に呼ばれた時、その基本理念が素晴らしい。鶴鳴。詩経の「鶴鳴于九臯(つるきゆうこうになき) 聲聞于天(こえてんにきく)」から来ているらしい。鶴は山奥の沢で鳴いても、その声は天に聞こえる。そんな意味だろうか、私も山奥の人間、そうなりたいと思いました。

広島県の学校の校長先生から頂いた言葉。「難しい事をより簡単に、簡単な事をより分かりやすく、分かりやすい事をより面白く」まさに私の基本方針。今年も目指します。まだまだ沢山の言葉を頂きました。次の機会に譲ります。

